

ある日 我が子が 学校へ行かない 選択をした。

日本の教育システムにおいて、文部科学省による最新の調査では、年間で10万人を超える子どもたちが年間30日以上学校に通わない、通えない選択をするいわゆる不登校（以下：不登校）の状態にあり、松江市でも直近の調査によると不登校の小学生は279人いることが報告されています【令和5年度第2回松江市教育委員会議事録より】。

この中には年間29日以下の児童は含まれない為、それを含めると更にその数は増えると松江市と出雲市でフリースクール『Re わっく』を運営する元教員の大國貴之さんは言う。学校に行かない選択をした子供たちのサポートする大國さんにお話を伺いました。



左：家では3人のパパ
右：教員時代の大國さん

大國さんインタビュー

2024年4月にフリースクールRe わっくを立ち上げました。前職は10年間島根県東部を中心に教員として働いていました。事業を立ち上げたきっかけは私自身が今で言う不登校児童でした。その事で進学に困った経験があるのですが、教員の立場になりわかった事は自分が不登校だった時と今のサポートがあまり変わっていない事、学校以外の場所があってもいいのではないかと。子どもたちが安心して来てもらえる場所をつくりアプローチを考えなければならぬと思い立ち上げました。不登校児童に対する現状を批判するのではなく、行政のスピード感を考えながら児童とフリースクールと学校及び行政が協力していく必要があると感じています。



現在Re わっくは松江、出雲の2拠点でフリースクールを展開し約20名の生徒が在籍し常時5、6人の生徒が来てくれてます（必ず毎日来る必要はない）。スタッフは元教員の私と心理士、保育士の3人で日々子ども達と接しています。多くの子ども達のサポートをしたいですが、まだ世の中の不登校児童に対するサポートがバラバラに動いているの

が現状の為、スタッフの増員が出来ない状況です。

Re わっくの動き方

現在は在籍いただいているご家庭からの月謝から収入を賄っています。その他に地域の企業様から協力を得ることがあります。その協力というのは運営資金だけではなく、子ども達の社会科実習を受け入れを協力いただくこともあります。実際に子ども達が興味を持ち動き出そうとした時にそのような企業様のご協力は私が助かるのではなく、次のステップに動き出す子ども達にとって大きく影響します。最近ではIT企業への社会実習や土木といった企業様に見学ではなく体験に行きました。学校に行かない子供たちは理由も様々ですが、その子の興味や道筋もそれぞれです。プログラミングに興味を持つ子や機械を触ることが好きな子。決して同じ基準ではないことを肌で感じる必要があります。農業分野など多岐にわたる体験がこの松江では体験が出来ています。

この事業を始めて地域とつながる子ども達の顔を見ていると沢山の方の関りは街づくりのようであると思います。実際たくさんの方の企業様にご理解とご協力をいただき一歩を踏み出せなかった子ども達が自分で動き始める姿を見るのは本当にうれしいです。

不登校とひとくくりには出来ません。要因は様々ですし、学びたくても学校が合わない子どももいます。近年は沢山の情報の中で積極的不登校を選択する子ども達もいます。スクールノマドも自分に



幸いなことにRe わっくの活動をメディアに取り上げて頂く機会もあります。私も色んな場に出向き少しでも多くの方にご理解いただけるように日々動いている中で企業にお勧めの方の子どもが不登校だったりするので他人事ではないとも言われます。街全体で今の不登校児童を取り巻く状況を考え、社会インフラ的な要素として取り組んでいただけることに感謝しています。



ので興味がある子どもたちの手で短編動画等の制作してもらいたいと思っています。

合った環境の選択。学校に行く事が必ずしも正しい道と押し付けるのではなく、いかに選択肢を減らさないか、体験の場所を作るかそこが我々が必要とされるサポートだと思っています。



学校に行かない選択への光

学校に出席していませんので欠席になるわけです。私が直面した進路選択の不利はこれでした。残念ながら現状はそこへのサポートに対する国のガイドラインはありません。今は学校単位で判断が任せられており、Re わっくに来てくれる事を出席扱いにして下さる学校もあります。今はそれが出来なくても日々学校と連携をとって年度末で出席に認める可能性の為に調整をしている学校とRe わっくでの子どもの活動を共有しています。少しづつ社会全体が動き出している実感はありますが、同じようにRe わっくに来てくれるようになった子どもたちの行動に対して差が生まれてしまっているのが、今後はどの学校から来て同じような対応になっていくって欲しいです。

Re わっくに来てくれる子どもたち

最初は凄く静かな子達です。最初は。(笑)先ずはお試しとして2週間ぐらい体験期間を設けていますが、長い子で1か月様子を見ることもありさすが徐々に自分の興味を話してくれたり、タブレットを用いた授業と一緒にやってみよううちにコミュニケーションがとれるようになっていく子たちがあります。通ってくるようになってくれた子ども達に学習のサポートも行う事については自分が元教員である事でサポートをします。松江市にも同様のサポートを実施される方はおられますがなかなか低学年からの受け入れをしているところが少ないのでRe わっくでは小学校1年生から受け入れていきます。



様々な場所から来る子供たち同士が起こした渦

Re わっくでは3つの基本方針をかかげて活動しています。
①個別進路学習
デジタルドリルを使用した自分のペースで進めていく学習
②マイプロジェクト学習
その子の興味に合わせた学習

③子ども哲学

Re わっくに通う子ども達は所属の学校は様々です。その中で基本方針の3つがそれぞれ連携して子ども達を伸ばしていこうと考えています。子ども達が持った興味から自分のペースで動き出す。そして子ども哲学として子ども達同士で話す機会を作る事で集団生活を考えていく。その子ども達同士の会話がこんな事がありました。それぞれ好きな事、学んだ事を話の中である一人の子が自分が不登校になった理由を話し始めました。もちろんその子の自発的な発言ではありませんがその後、堰を切ったように次から次へと自分が学校へ行かない選択をした理由を子ども達自身が語りはじめました。

まとめ

最後になりましたが今後の不登校を取り巻く環境について一つの分野だけではなく学校、家庭、企業、地域、行政が垣根をこえて取り組んでいく街づくりをしていくようなイメージで取り組んでいけたら学習支援や進学、就職まで社会全体でサポートできるのではないかと思います。



... フリースクール Re わっく ...

利用料金(月額)

施設利用 20000 円
(兄弟割引有り※第2子 10000 円、第3子 5000 円)

オンライン利用 5000 円 (10:00 から 12:00)

オンラインを通して、年齢等の垣根を越えて様々な人と関わることが出来ます。

訪問サポート 1 回 3000 円

月末にまとめて支払いとなります。(15:30~18:00)
子どもたちの好きなことや好きものを通じて関わります。関わりながら得意なことと学習を結び付けた指導を行ったり、地域の方と関わる機会をもてるようにします。

お問い合わせ

相談、見学予約などは ☎070-8430-0529 (代表:大國)
お気軽にご連絡下さい。✉rewak0401@gmail.com

SNSも見てね

LINE



Instagram

